

1996年 **百里初午まつり**に参加しよう



恒例の百里初午まつりが、今年も2月11日(国民の祝日)に行われます。百里基地反対闘争は現地の農民がブローサーの前に座り込む激しい闘いでしたが、誘導路をくの字に曲げた百里の闘いは全国の基地闘争の手本になりました。それ以来40年間闘いは続いています。百里の自衛隊はいまF15の戦闘機部隊が42機、P3Cをはじめとする偵察機部隊が29機と増強されていますが、1坪運動地が基地拡張を阻んでいます。

そろそろ梅がほころび始めそうなぼかぼか陽気が続いています。こども達は、丁度第2土曜日と振り替え休みに重なって3連休です。土浦でも革新懇が恒例の平和学習会を変更して百里に参加することになりました。また、茨城コープのポッポの会も基地見学を兼ねてこの日百里に参加するそうです。模擬店も参加各団体が趣向を凝らして出展する予定になっています。家族づれでピクニックはいかがでしょう。

ところ 百里平和公園
 と き 2月11日(日) 11時半開始
 主 催 百里基地反対同盟(連絡先 茨城県平和委員会)

ひと言 日本の平和は沖縄から

1・15沖縄連帯集会に参加しました。昨年9月の米兵による少女暴行事件以来、いままで押さえていた怒りが発し、燃えに燃えている沖縄に1月14日到着。寒い朝から一転し、真夏のような日ざしの中へ。

多くの住民が犠牲になった南部戦跡の一つ「ガラビ壕」に入った。野戦病院跡である。軍手に懐中電灯をもち、起伏のある岩場に手をかけながら全長500mの奥をめざす。真っ暗な中、かまどの跡を見つけた。早く外の明るい手に出たい気分にかられる。反戦地主の一人、池原さんの牧場を訪ねた。基地の中にあり、説明を聞いている時も頭の上を米軍機が飛んでいく。「ここは基地ではない、牧場だ」と、奥さんと二人で見つからないように夜中に少しずつ建てたという、つぎはぎの牛舎や豚舎がある。「当たり前のことを主張して闘ってきた。闘いの火種を守り続けて、れば、いつか支持する人々と連帯できると思ってきた。いまその時が来た」と語った。沖縄全土の20%を占める米軍基地。嘉手納基地の金網のむこうに広く長い滑走路、思いやり予算で建てた格納庫がズラッと並んでいる。国道を封鎖しての実弾演習、住民生活の場に音も弾も飛んでくる。

全国から8千人集まった「1・15沖縄連帯集会」では、全国865の議会が沖縄への連帯の決議をあげていることや、日本の防衛には何ら関係ない海兵隊がいる。米国では住宅地の近くで実弾演習はしていない。集会後那覇市内の目抜き通りをデモ行進したが、車の中から、ビルの上の方から、店の中から、歩いている人から手を振ってくれた

集会で埼玉の女子高校生が「腹が立つなら立ち上がらなければならない。いけないことを見過ごすことは、それを許すことと同じだ」と。当たり前の権利や主張がとおる沖縄そして日本にするために、今こそ全国が連帯して闘う時だと思う。
 土浦平和の会会員・新婦人土浦支部 河野恭子

平和憲法の木の植樹採択される(土浦市議会)

昨年夏、戦後50年を記念してピースアクション茨城が「平和憲法の木」を植える運動を提起し土浦においても革新懇、新婦人土浦支部、土浦民主商工会、茨城コープポッポの会、茨高教組土浦支部、歴教協県南支部、土浦平和の会の7団体が土浦市議会に陳情しましたが、12月市議会において採択され、近く植樹が行われることになりました

植樹場所と樹種は次のとおり。

場 所 亀城公園と市民会館
 樹 種 メタセコイヤ(あけぼの杉)
 「平和憲法の木」の表示をする

行事ごよみ

- 2月11日 百里初午まつり
- 2月24日 県平和委員会常任理事会(水戸)
- 2月29日 土浦平和委員会理事会予定(2中地区公民館予定)